

ドーム船でワカサギ釣り体験する子供

# 釣りを通し環境保全活動

日本さかな検定協会

## グローブライドとコラボ

諏訪湖で第6回開催  
 今月1日には長野県の諏訪湖で開催した第6回「ととけん×DAIWA 環境美化への呼び掛け」をグローブライド、ファット、ミリーフィッシング！、釣ったワカサギは天ぷらを開催。参加者ファミリーらにして食べ、そのあとがドーム船でワカサギ釣りを楽しんだ。開始前、ビニールなどを片付け、下船後は使用した施設の周辺の清掃を行った。

日本さかな検定協会と釣り用品メーカーのグローブライド(株)は、ととけん受

検者ファミリーとの釣りイベント「ととけん×DAIWA グローブライド ファミリーフィッシング」を行ってきたが、改めて地球環境保全の意識を高める取り組みを今月から開始した。

その第一歩として、釣りを楽しんだあとの片付けと利用した周辺の清掃を徹底することで「釣りを体験」を通した環境保全



「第10回日本さかな検定」は2019年6月23日に全国一斉に行われる予定。

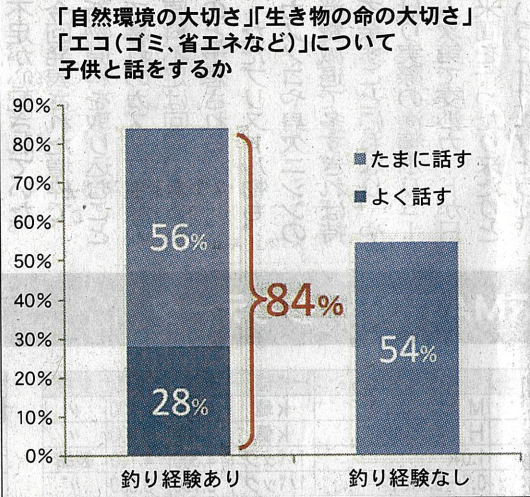
釣りのあとは清掃活動

# 子供「釣り体験」有効

日本さかな検定協会  
 環境保全への意識向上

### 母親に調査

日本さかな検定協会は小学4年生から中学生の



子供をもつ30〜40代の母親に子供の「釣り体験」に関するウェブ調査を9月に行った結果、地球環境保全、生態系保全への

子供の意識向上に「釣り体験」が有効であることが分かったと発表した。調査では、子供に釣り経験がある家庭では84%

が環境に関する話をしており、経験のない家庭と比べると30%の差があるなど、体験の有無によって、「自然環境の大切さ」や「生き物の命の大切さ」「エコ(ゴミ、省エネなど)」について親子で話す頻度に違いがあるというデータが得られた。

また母親に「釣り体験は有効か」を聞いたところ、約7割が役立つなど回答。そのほか「釣り経験なし」の子供は全体の7割で、回答した母親の約4割が「体験させた機会がない」と思っていることも分かった。